

ホメオパシー的靈性のサポートにより 土地の力、家族の絆が強くなり 使命を全うしたケース

日本ホメオパシーセンター石垣島

及び 那覇奥武山町センター長

JPHMA認定ホメオパス No.730

寺澤 カンナ

発表演題 ポイント

ZENメソッドを最大に活用しながら身体・こころ・魂に向き合い、クライアント家族とともにホメオパスが伴走しながら、お父様の旅立ちまでをサポートした軌跡と奇跡のお話です。

さらに、毎回のホメオパシー相談を通して家族の絆がより深くなり、土地の神様や蓋をしていた井戸の水を復活させ、その土地のエネルギーや水の循環を起こし家族全体の愛と絆、土地の大いなる恵みに見守られながら旅立った一人の男性の物語でもあります。

霊性のサポートのケースです。

【ストーリー】
ホメオパスと
の出会い

- 『実家が自営業をしております。

コロナが始まってから、レメディを取り入れ始め家族でお世話になっておりますが、実はレメディの相談をまだしたことがなく
コロナ対策のものをメインで取り寄せ使っていたのですが、今回父がちゃんと専門家の方に相談してみたいと言い出しまして
カンナさんを思い出してお問合せさせていただきました。

詳細教えていただけましたら幸いです。よろしく申し上げます。』

こういう内容で相談依頼が来ました。

「質問票」から
真の相談内容
が明らかに。

実際に相談する前に質問票を書いてもらいました。

そこにはお父様がなぜちゃんと相談したいと話したかが書かれており、実際には霊的な相談がメインだとわかりました。

【ホメオパシーの 役割】

- お父様 （相談主）※娘さんが代理で申し込み。
- お母様が自営業でありお父様は公務員として活躍
- 娘一人の仲の良い家族
-
- お父様はもともと腎臓が弱く長寿としては生きられないと言われていた。
- 2018年冬 道路で滑って転倒し、骨折（1ヶ月放置していた→入院手術）
- 退院後 母屋の室内で足を引っ掛けて膝骨折し入院
母屋の室内で立ちくらみ倒れて入院
廊下で倒れて入院
- その後、介護施設から戻り介護レベル4で現在に至る。

【現状】

- 家で寝たきりの状態だが、意思疎通は取れる。しっかりと自分の意見を話せる（少し呂律が回らない感じはあるが）認知症はない。
- ※オール電化だったため、その電磁波対策と5Gの対策をすると家族の不定愁訴が改善した。

【真の相談内容】

- お父様から 「庭に蛇が見える。」
- という発言が増え家族も医者もそれに対応できず困っていた。
- お父様が誰かに相談したい。探してほしい。と娘に依頼
- 思いつく方を探し、お父様に確認していったところホメオパスと出会う。
- お父様が一言「よろしくお願いします。」と言ったとのこと。

【初めての相談】

- お父様の状態から腎臓に特化したレメディーを撮ってもらう
- 合わせて庭の様子やこれまでの歴史などを聞き取り
- 周辺の動画をオンラインで写してもらう
- 井戸が在るか確認
- 蛇からわかること
- 水が関係する土地のエネルギー
- 家族との絆と愛の物語

【霊性のレメディー のポイント】

- サポート 霊性
- おそれ
- 水のレメディー
- 毎日の感謝と祈り
- 水をあける儀式

【まとめ】

- 霊性のレメディーをどう活用するか
- 行動とレメディー
- 使命とカルマと水のレメディー
- 家族という役割とこの世で出会う意味
- ホメオパシーの役割
- 基本キッドの活用